

研修名 保育内容研修10（エデュケア）

平成28年1月19日（火）10：00～12：30

講演 「保育士と子どもとの『共有型保育』が子どもを育てる  
～どの子ども伸びる援助をめぐる～」

講師 内田 伸子 氏

## 1. 講演要旨

- ①想像力の発達  
五官を使った体験の大切さ
- ②学力格差は幼児期から始まるか  
幼稚園卒＞保育所卒は本当か？
- ③子ども中心の保育—「共有型」の保育  
どの子ども伸びる援助・ことばがけ

## 2. 感想

今回の研修に参加し、子どもの発達について丁寧に教えていただき、今までの関わり方だけでなく、このように言葉をかけてあげても良かったのだなと感じました。

なんとなく男の子の頭と女の子の頭の中の違いは分かっていましたが、分かりやすい資料を元に話して下さったおかげでより理解を深めることができました。特に成長が足踏みしている時がとても大事な時で、次への成長の準備にとっても大切な事だというところが印象に残りました。

次の見出しでは、学力格差について、様々な統計資料に基づき学力や語彙力の差がどのような原因によって起こるのかを明確に提示して下さり、保育士としてだけでなく、親としても学ぶことが多々あり、乳幼児期は遊ぶことが何よりも良い経験につながる事がわかりました。

また、保育園卒と幼稚園卒の違いでその後の学力格差につながる事はないとお話いただき自信にもつながりました。

最後の共有型保育についての講演では、事例を挙げてわかりやすく説明して下さりとても分かりやすかったです。ついつい答えを言ってしまう事が多々あったので、子どもの答えを待つようにしたいです。

3H（ほめる、はげます、ひろげる）を意識しながら今日学んだことをこれからの保育に活用していきたいと思います。

今回は非常に有意義な研修を開催してくださりありがとうございました。毎回研修に行くのが楽しみです。これからの研修も楽しみにしています。

（記録 宇治田原町立保育所あゆみの園 北山健仁）

